

二四三 橘樹郡町村長会における郡長演達指示

事項(一一二)

(一)

〔大正八年七月十二日於町村長会〕

郡長演達要項

諸君本日諸君ノ会合ヲ求メタルハ去月末知事ヨリ郡市長ニ対シ演達指示セラレタル事項ヲ伝達シ併セテ所見ヲ披瀝センカ為メナリ

民力ノ涵養 世界ノ大戦乱モ愈去月廿八日調印セラレタル平

和条約ニ依リテ全ク終熄シ同慶ノ至リナリト雖多年死生ノ間ニ堅忍奪鬪シテ鍛鍊セラレタル欧米人ハ其多大ナル損害ヲ快復スル為メ今

後ハ一層商工戦ニ活動スルコトナラン然ルニ我国ハ欧州戦場ノ惨事ハ新聞紙ニテ承知シタルノミニシテ經濟上却ツテ好影響ヲ受ケ一般

生産物ノ好況ヲ来タシテ浮華ニ流レ知足守分ノ風ヲ忘レ殊ニ外来思想ノ波動ヲ受ケテ民心ノ安定ヲ失スルノ虞アルハ寒心ニ耐ヘサル次

第ナリ今日ハ部内住民ヲ覚醒セシメ戊申詔書ノ御趣旨ヲ徹底的ニ服膺実行セシムルノ必要アルヘシ内務大臣ハ之レカ為メ特ニ訓令ヲ発

セラレ國民ノ覚醒自彊ノ綱領ヲ示サレ知事ハ其趣旨勵行ニ関シ指示セラレタリ諸君ハ其趣旨ヲ諒セラレ管内ノ篤志者教育家宗教家在郷

軍人分会青年団等ヲ活動セシメ協力シテ健実ナル民風ヲ作興スルニ努メラレンコトヲ望ム

自治体ノ發展及其基礎ノ確立

自治体ハ其本来ノ意義部内一

般ノ盛衰憂ヲ共ニスルニアルヲ以テ協心戮力シテ其發展ヲ計ラサルヘカラス故ニ町村財政ノ実況産業ノ大勢ハ勿論政府ノ施政方針法令ノ趣旨町村条例ノ要項ニ至ルマテ可成部内住民ニ周知セシメ相協力シテ時勢ノ進運ニ順応スルコトヲ期セサルヘカラス從ツテ公告式ノ揭示場モ可成其數ヲ多クシテ前記ノ要項等ハ一般部民ニ周知セシムル様之ヲ善用スルハ自治体ノ本義トシテ相当ノ事ナルヘシ部内ニ於ケル各種統計ノ資料モ可成軍人分会青年団員等ヲ指導シテ協力セシムルハ善良ナル公民ノ養成ニ資スルノミナラス確実ナル統計資料ヲ得事務ノ進捗ヲ助ケル一方法ナラン自治体ノ基本財産蓄積条例ハ郡内各町村皆設定セラレタルモ多クハ一定ノ制限アリテ時勢ニ適応セサルノ感アリ蓄積額ニ制限ヲ置クトスレハ少クトモ五万又八十万位ヲ期待セサルヘカラス蓄積ノ規定ノ如キハ確実ニ勵行スル様留意セラレンコトヲ望ム

自治体ノ議員ハ本来ノ性質上理事者ト和衷協力シテ自治体ノ發展ヲ計ルヘキモノナルヲ以テ自然議員ヲシテ其財政ノ実況ヲ詳細セシムルノ必要アリ之レ町村制第二百一一条二年二回ハ必ス出納検査ヲ為

スヘシトノ規定アル所以ナリ故ニ出納検査ハ年二回ハ必ス之ヲ実行シ形式ノニ失スルコトナク実質ノ検査ヲ為ス様留意セラレシコトヲ望ム

教育機関ノ設備

現今社会ノ状勢ハ物質的精神的ノ両方面ヨ

リ見ルモ世界ノ維新ノ時機ト云フヘク之ニ順応セントスルニハ民衆ノ智徳ヲ涵養スルコト最モ緊要ナルハ贅言ヲ要セス故ニ町村ニ於ケル学校ノ設備ヲ完成シ教育ノ効果ヲ相当ニ発揚セサルヘカラス殊ニ義務教育ノ機関タル小学校ノ設備ヲ完成スルハ町村ノ義務行為ナルヲ以テ法令ノ定ムル所ニ從ヒ教授上必要ナル内部ノ設備ノ如キハ必ス之ヲ実行セサルヘカラス教授上必要ナル設備ヲ不問ニ付ストキハ教育ノ効果ヲ不問ニ付スル結果ニ陥キルヘシ義務教育年限延長時代〔明治四十一年〕ノ遺物タル変則ノ独立尋常小学校ノ今日尚ホ郡内ニ存在スルハ京浜間ニ介在スル本郡ノ体面上甚タ遺憾トスルトコロナリ此ノ遺憾ハ可成速ニ解除シテ教育機関ノ設備ヲ完成シ其効果発揚ニ留意アラントヲ望ム

吏員教員ノ優遇

現時諸物価ノ騰貴ハ数年前ニ数倍シ一定ノ

収入アルモノハ其窮状甚大ナルヲ以テ政府ハ官吏ノ俸給旅費ニ五割ノ増加支給ヲ実行シ公共団体ノ吏員教員ヲシテ之ニ準拠セシムル為メ制限外賦課ノ程度ヲ拡張セラレタリ自治体ノ発展ハ一般事務ノ整

善ニ立脚スルモノナルヲ以テ事務ノ整善ヲ計ルニハ吏員ヲ励精セシムル為メ相当優遇ノ途ヲ確立スルノ必要アルヘシ又教員ノ如キ全然一定ノ収入ニ衣食スル者ハ延ヒテ其志操ノ動揺ヲ来タセル傾向アルノミナラス教員ノ欠乏ヲ来シテ其補充困難ナルハ現時一般ノ趨勢ナルヲ以テ教員ヲシテ安定シテ教職ニ励精シ得ル様政府ノ方針ヲ体シテ優遇ノ途ヲ定メラレシコトヲ望ム

町村事務ノ整善ト吏員ノ増補

時勢ノ進運ニ伴^(七)町村事務ノ繁

忙ヲ来タスハ自然ノ趨勢ナルノミナラス緊急敏速ヲ要スル事件偶発少ナカラス事務ノ整善報告ノ遅速ハ相互当事者ノ体面ニ関スルミナラス自治体タル郡町村ノ面目ニ関スルモノト思フ今日町村ノ事務ハ甚タ繁雜ナルヲ以テ二三ノ吏員ニテ其面目ヲ相当ニ維持スルハ困難ナルヲ以テ可成適方ヲ挙用シテ之ヲ優偶スルノミナラス相当ニ吏員ノ増補ヲ決行シ事務ノ整善報告ノ敏活ヲ期セラレシコトヲ望ム

指示事項

町村吏員ノ優遇ニ関スル件

町村長ニシテ多年勤続シ功勞著明ナル者ニ対シ町村制実施三十年ニ相当スル今年紀元節ノ佳辰ニ於テ特ニ叙勲ノ恩典アリタルハ誠ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ町村吏員ノ優遇ニ関シテハ予テ指示セル所アルノ

ミナラス客年十月県訓令第四十八号ヲ以テ町村有給吏員俸給額及其ノ支給規程準則ヲ定メ名譽職町村長助役ノ報酬及費用弁償額並ニ其ノ支給方法モ之ニ準拠セシムル等以テ其ノ待遇ノ向上ヲ図ル為メ特ニ通牒アリタルニヨリ爾後各位ノ努力ニヨリ該規程ヲ設定シ相當優遇ノ途ヲ講シタル向アリト雖尚未タ遺憾ノ点尠ラス此ノ際一層其意ヲ体シテ増給ヲ計ラシムルハ勿論臨時手当ノ如キモ他ノ官公吏等ニ準シ相當給与セシメ以テ吏員ノ社会的地位ヲ向上シテ今後益々自治ノ振興ニ努力セシメラレムコトヲ望ム

部落改善ニ関スル件

部落改善ノ方法ニ至リテハ固ヨリ種々アルヘシト雖モ教育宗教等ノ力ニ依テ精神的向上ヲ図リ部落間ヲ融和シテ共同ノ美風ヲ作成シ一面産業ヲ振興シテ其ノ富力ヲ増進シ衛生其ノ他ノ文明ノ施設ヲ促シテ其ノ生活状態ヲ改善スルカ如キハ尤モ緊要ナリト信ス各位ハ能ク部落ノ状態ヲ洞察シテ機宜適応ノ施設ヲ為シ以テ其ノ実績ヲ挙クルニ努メラレムコトヲ望ム

道路法ノ施行並道路改良ニ関スル件

多年ノ懸案タリシ道路法ノ制定セラレ近ク其ノ施行ヲ見ルニ至ルヘ

キヲ以テ之カ実施ニ当リテハ宜シク地方ノ実情ニ顧ミ同法制定ノ趣旨ニ副フニ努メラレ且又現在ニ於ケル町村里道ノ施設状況ヲ見ルニ動モスレハ其ノ普及ニ偏シ実質ノ改良ヲ閑却スルノ傾向アルノミナラス道路ノ管理全カラス往々ニシテ其ノ維持修繕ヲ怠リ為ニ交通上危険ヲ感スル現状ヲ呈スルモノアルハ洵ニ遺憾トスル処ナラヲ以テ道路法ノ施行ト相俟テ漸次之カ改善ニ就キ一層ノ努力アランコトヲ望ム

町村農業技術員ニ関スル件

町村技術員ハ相當ノ年数ヲ勤続スルニアラサレハ其ノ技倆ヲ發揮スルヲ得ス然ルニ近時其更迭頻繁ニシテ前年度ノ如キハ就職一年ニ満サルモノ頗ル多シ各位ハ其原因ヲ質シ可成勤続セシムル様相當ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

町村土木補助工事督励ノ件

県費補助ニ係ル町村主管ノ道路橋梁及治水工事ニシテ往々施行緩漫ニ流ル、ノ傾向アルハ甚タ遺憾トスル処ナリ惟フニ輓近ニ於ケル物価ノ騰貴ハ著シク工事ノ施行至難ニ陥リ自然其ノ実質ヲ輕視シ当初ノ目的ニ副ハサルカ如キ工事ヲ施行シ其ノ効果ヲ減殺セシムルモノ

勵ラス仍テ此ノ際一層ノ督勵ヲ加ヘ苟モ竣功検査ニ当リ手直ヲ命セラル、カ如キコトナキ様猶補助工事執行手續ニ依ル各事項ノ勵行ニ就テモ此ノ際充分ノ注意ヲ喚起セラレムコトヲ望ム

神社行政ニ関スル件

神社ノ崇敬ニ関シテハ特ニ方今ノ時勢ニ鑑ミ其主旨ヲ透徹普及セシムルノ緊要ナルヲ見ル故ニ政府ニ於テハ今回公共団体ヨリ神社ノ經費ニ補助スルノ範圍ヲ拡張セラレ本県ニ於テモ亦曩ニ神職優遇ノ実ヲ挙クル為県社以下神社社司社掌俸給及旅費規程ヲ設定セラレタリ各位能ク此点ニ留意シ益々神社崇敬ノ実ヲ挙ケ神職待遇ノ改善ヲ勉メラレムコトヲ望ム

神職養成ニ関スル件

従来皇典講究所ニ依託ノ神職養成部神職教習科ノ事業ヲ拡張セラレ更ニ神宮皇字館専科ノ修業年限ヲ延長シテ普通神職ノ素質向上ヲ図ラレツ、アリ各位志願者ヲ推薦セラレムトスルトキハ特ニ人物ノ選択ニ注意セラレンコトヲ望ム

神事旧慣ノ保持ニ関スル件

古來各地ニ伝ヘ來レル神事ニ関スル習俗ニ就テハ公安ヲ害シ風俗ヲ紊ルノ虞アルモノノ外成ルヘク之ヲ保持シ以テ我国民性ノ涵養ニ資セラレムコトヲ望ム

史蹟名勝天然記念物保存法ニ関スル件

今回史蹟名勝天然記念物保存法〔大正八年四月法律第四十四号〕公布セラレ本月一日ヨリ施行セラル之カ効果ヲ挙クルニハ町村団体ノ協力ニ俟ツヘキモノ多シ切ニ各位ノ注意ヲ望ム

在郷軍人ノ指導ニ関スル件

在郷軍人ハ戰時陸軍ノ主要部ヲ占ムルヲ以テ之カ指導教養ヲ周到ナラシムルハ軍事上極メテ緊要ニシテ在郷軍人会成立ノ理由モ亦茲ニ存スルハ各位ノ知悉セラル、所ナリ而シテ同会ノ事業ハ各位ノ援助ニ依リ漸次穩健ニ発達シツ、アリト雖未タ十分ナル成績ヲ挙クルニ至ラサルヲ以テ一層之ヲ助成シ一面青年団体トノ連絡ニ意ヲ注キ進テ公共事業ニ参与セシメ良兵タルト共ニ良民タルノ実ヲ挙ケ以テ公益ヲ増進スルノ一助タラシメラレムコトヲ望ム

召集及簡閲点呼ニ関スル件

召集徵発事務ニ関スル町村吏員ノ研究ハ尚遺憾ノ点尠カラサルモノアリ各位ハ将来一層当事者ヲ指導督励セラレムコトヲ望ム

簡閱点呼ノ成績ハ漸次向上シツ、アリト雖關係吏員中往々參列ヲ忽ニスル者アルハ遺憾トスル所ナリ抑点呼ノ本旨ハ在郷軍人ノ狀況ヲ査閲シテ教訓ヲ与へ其本文ヲ完ウセシムルニアリ而シテ之カ執行ニ関シテハ固ヨリ点呼執行官ノ専ラ力ヲ尽スヘキコトナリト雖町村吏員モ亦此ノ機ヲ利用シ參會者ニ希望ヲ開示或ハ指示ヲ与へ以テ模範ノ良民タルヘク指導セララル、ハ極メテ有益ナルコトナリト信ス

家族手当ノ支給及兵卒給料ノ増額ノ件

下士以下召集ノ間其ノ家族ニシテ生計困難ナル者ニ就テハ曩ニ軍事救護法ノ制定アリシト雖モ尚一般応召ノ為メ受クル打撃鮮少ナラサルヲ以テ今回家族手当支給ノ制(大正八年四月 陸軍省令第十三号)ヲ定メラレタリ又下士以下ノ給料ハ更ニ増額(別紙参照)セラレタルヲ以テ概ネ其ノ需用ヲ充タシ得ヘキヲ信ス而シテ父兄カ在營下士卒ニ対シ妄リニ送金ヲ為スハ却テ彼等ノ惡風ヲ増進セシムルノ因ヲ為スヲ以テ各位ハ深ク此ノ点ニ留意セラレムコトヲ望ム

飛行機ノ事故ニ関スル件

從來陸軍飛行機カ飛行場外ニ着陸若ハ事故ニ遭フニ際シ地方民ノ熱誠ナル処置ニ対シテハ政府大ニ之ヲ多トセリ唯此等遭難ノ状態ハ將來ノ研究資料トシテ最モ貴重ナル価値ヲ有スルモノナルヲ以テ飛行機体ノ現況ハ止ムヲ得サルモノノ外關係職員ノ來着ニ先チ変更セサルコトニ留意セラレムコトヲ望ム

農繁期ニ於ケル下士卒休暇ニ関スル件

曩ニ下士卒在隊ノ為ニ生スル産業上ノ打撃ヲ輕減緩和スルノ主旨ニ基キ農事其ノ他ノ産業繁忙ノ時期ニ際シ家庭ノ狀況上帰省助力ヲ要スヘキ者ニ対シテハ単ニ家族ノ口頭又ハ書信ニ依ル申出ニ依リ請願休暇ヲ付与シ尚各部隊ヨリ關係公吏ニ照會シテ予メ繁忙ノ季節及帰省ヲ要スヘキ者ヲ調査シ以テ休暇許否ノ資料トスルコトナレリ而シテ其実行ヲ円滑有効ナラシメムニハ帰省者ニ対スル懇篤ナル指導監督ニ俟ツヤ大ナリ各位ハ在營ノ期短クシテ教育愈繁多ナルニ方リ特ニ本制度ヲ創定セラレタル主旨ニ顧ミ其ノ効果ヲ挙クルコトニ配慮セラレムコトヲ望ム

社寺境内取締ニ関スル件

社寺境内ハ祭典法要執行風致維持ニ必要ナルノミナラス苟モ境内タ

ル以上ハ之ニヨリ杜寺ノ尊嚴ヲ保チ神聖ヲ計ラサルヘカラス元來社寺境内ハ明治三十六年十一月内務省令第十二号第一条大正二年四月内務省令第六号第二十七条ニヨルノ外使用シ得サルニモ不拘近來往々猥ニ境内ヲ使用スルモノアルヲ聞クハ甚不都合ナリト又近來一般官有地ノ例ニ依リ大正三年県令第三十七号ニヨリ出願スルモノ多シ是等ハ全ク境内タルノ觀念ニ乏シキノ致ス所ナルヘシ將來右等誤解ナキ様周密ノ注意ヲ与ヘ毫モ境内ノ目的ヲ損スルカ如キコトナキ様厳重取締ラレムコトヲ望ム

蚕業ニ関スル件

本郡ノ蚕業ハ多年ノ奨励其ノ効ヲ奏シ近時大ニ面目ヲ改メ進歩ノ迹顯著ナルモノアリ殊ニ本年ハ糸価未曾有ノ昂騰ヲナシ蚕糸業ニ一段ノ活氣ヲ呈セルヲ以テ此ノ機ヲ利用シ各位ハ左記各項ニ注意シ益々斯業ノ進歩ニ努力セラレムコトヲ望ム

(一) 桑園ノ改良ハ一般蚕糸業ノ進歩ニ伴ハザルノ觀アリ為ニ育蚕期

ニ於テ桑葉ノ暴騰ヲ来シ不慮ノ失敗ヲ招クモノアリ依テ之カ増収ノ途ヲ講シ蚕糸業ヲシテ円満ナル利益ヲ収メシムルコト

(二) 本年ハ糸価ノ好況ニ眩惑シ当業者一般過度ノ夏秋蚕飼育ヲ行フ傾向アリ如斯ハ桑葉ノ乱獲ヲ為シ延テ桑園ノ荒廢ヲ来タスヲ以テ

桑葉ノ収量ト蚕児ノ掃立量トノ權衡ヲ失セサル様注意セラレタキコト

(三) 養蚕組合ハ各位ノ奨励ニ依リ其ノ數ヲ増加セリト雖未タ其ノ内容ノ充實セサルモノアリ今後猥リニ其ノ數ノ増加ニ勉メヌ既設組合ヲ一層健全ナラシムルト共ニ糸価好況ノ結果當業者ハ予想外ノ利益ヲ取得セルヲ以テ其ノ一部ヲ割キテ基本財産ヲ貯蓄シ他日ノ變ニ備フル様指導セラレタキコト

副業奨励ニ関スル件

農業漁業其他一般ニ主要業務ニ従事スル余力ヲ以テ適當ナル副業ヲナサシムルハ地方産業ノ開發上須要ノ事項ナルヲ以テ県ニ於テハ之カ奨励ニ関スル機関ヲ設置セラレタリ各位ハ宜シク県ノ施設ト相俟ツテ斯業ノ發達ニ竭サレムコトヲ望ム

産業組合ニ関スル件

郡内産業組合ノ実況ニ就テハ各位ノ熟知セラル、カ如ク近時其ノ數ヲ増シ形式内容相俟テ漸次發達ノ機運ニ向ヘルハ深ク悦ブ所ナリト雖モ生産物ノ共同販売生計用品ノ共同購入及貯金ノ奨励等ハ現時尤モ緊要トスル所ナルヲ以テ是等ノ機関タル産業組合ノ活動ニ対シテ

ハ将来一層指導ニ注意セラレムコトヲ望ム

機業奨励補助ニ関スル件

従来力織機ノ奨励補助ニ関シテハ絹織物又ハ輸出絹物製織用力織機十台以上新設又ハ増設ノ場合ニ限りシモ今後内地向絹織物ノ改善発達ヲ促スノ必要ヲ認メタルト小機業者保護ノ必要ヲ認メタルトニヨリ本年四月県令第二十七号ヲ以テ力織機奨励補助規則ヲ左ノ通改正セラレタリ各位ニ於テモ此ノ趣旨ヲ当業者ニ周知セシメ地方ノ狀況ニ応シ之カ指導奨励ニ努セラレンコトヲ望ム

一 力織機台数十台以上トアルヲ五台以上ト改ム

二 輸出絹織物トアルヲ絹織物ト改ム

農商務省工芸展覧会ノ件

輸出工芸品ノ改良ヲ図ル為メ大正二年以来其筋ニ於テ図按及応用展覧会ヲ開催シ来リタルカ本年度ニ於テハ新ニ経費ヲ増加シ従来ノ計画ヲ拡張シテ単ニ工芸品ノ図按改善ニ止メス汎ク本邦工芸品ノ全部ニ涉リ技術並図按応用ノ練磨熟達ヲ促進スル目的ヲ以テ本年十月ヲ期シ工芸展覧会ヲ開催セラル、筈ニ付各位ニ於テモ此趣旨ヲ体シ出品勸誘上特ニ留意セラレムコトヲ望ム

産業統計ニ関スル件

産業政策ノ基礎ハ正確ナルハ産業統計上ニ立タサルヘカラサルハ言ヲ俟タス然ルニ産業ニ関スル統計ハ性質上其ノ正確ヲ期スル上ニ於テ最モ困難ナルカ為メ動モスレハ輕視セラレントスル傾向アリ農商務省ハ新ニ統計課ヲ設置シ職員ヲ増シ統計ノ根本的改善ヲ計ラレントス乍併産業統計ノ大半ハ多忙ナル町村吏員ノ蒐集ニ成ルヲ以テ之ガ正確ヲ期スルハ容易ノ事ニアラス此種ノ事柄ニ付テハ根本的施設トシテ種々計画スヘキコトアリト雖モ差当リ統計ニ従事スル専任職員ヲ置キ或ハ町村統計調査委員ノ普及ヲ計ル等幾何タリトモ漸次正確ノ域ニ近カラムコトヲ望ム

畜産奨励ニ関スル件

近時家畜家禽其他畜産物ノ需要激增シ供給大ニ不足ノミナラス畜力ノ利用肥料ノ自給等ハ農業経営上最モ必要ニシテ畜産ノ發達ヲ要求スルコト弥々切ナリ依テ此際一層之力奨励ニ努メラルヘク殊ニ左記事項ニ就テ留意ヲ望ム

(一) 養豚組合設置奨励

(二) 貸付種牛豚ノ飼養管理監督

(三) 肉役用種牛ノ移入奨励

(四) 牛豚飼料ノ自給奨励

(五) 農家余乳ノ利用奨励

徴兵旅費繰替支弁ニ関スル件

徴兵旅費繰替金ノ支出払戻請求及戻入金整理ニ関シテハ曩年注意スル所アリ漸次整善ノ域ニ進ミツ、アリト雖モ調査ノ実況ニ徴スレバ未タ不整理ノモノ不尠元來旅費繰替ニ際シテハ其行程ヲ精査シ徴兵旅費規則ノ定ムル所ニ依リ算定支給スヘキハ勿論ナルニ其ノ払戻請求書ヲ調査スルニ住々其ノ支給方錯誤アリ為ニ給額ノ過剩或ハ不足ヲ生ジ是レカ訂正ニ要スル手数不尠ノミナラス其ノ追給又ハ戻入ニ幾多ノ繁ヲ重ヌル結果処理未了ノモノアリ又町村ニ於ケル實際整理ノ状況ヲ視察セルニ繰替金ノ取扱ハ市町村財務規程ニ拠リ夫々整理スヘキ筈ナルニ今尚成規ニ反スル取扱ヲナス町村アリテ未タ整理ノ実績著ラサルハ畢竟取扱者ニ於テ規定ノ条項ヲ誤解シ処理ニ当リ周到ノ注意ヲ欠クノ結果其ノ計算ヲ愆ルニ至ルモノニシテ洵ニ遺憾トスル処ナリ近時世ノ移趨ニ伴ヒ徴兵旅費支給方ニ関シテモ亦屢々割増ノ通牒ヲ発セリ随テ是レカ取扱ニ付テハ一層ノ留意ヲ要スルニ付今後之レカ処理ニ対シテハ相当努力アラムコトヲ望ム

衛生ニ関スル法律ノ制定及改正ノ件

衛生ニ関スル施設改善ヲ期セム為政府ハ本年精神病院法結核予防法及「トラホーム」予防法ヲ制定シ又医師法及阿片法ヲ改正セラレ近ク本法ニ対スル施行規則ノ発布ト共ニ県モ又之カ細則等ヲ設ケ衛生施設ノ改善ヲ計リ以テ国民保健ノ実績ヲ挙ケントス各位克ク此ノ意ヲ体シ最善ノ努力ヲ竭シ苟モ遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ望ム

教員手当支給ノ件

小学校教員ハ前年ニ於ケル義務教育費国庫負担法ノ実施以來漸次其ノ待遇改善セラレ更ニ本年三月ニ於テハ夫レノ増俸及手当支給等行ハレタルモ物価ハ尚漸々騰貴ノ趨勢ヲ示シ俸給ニ衣食スル者益々窮迫ノ状アリ政府ハ此事情ニ鑑ミ国費支弁ノ官吏等ニ対シテハ平均五割ノ臨時手当ヲ支給スルコト、ナリ同時ニ地方ニ対シテハ地方税附加税制限ヲ拡張セラレ県費支弁吏員職員等ニ対シテモ国費支弁ノモノト同額ノ臨時手当ヲ支給スルコト、ナリタレハ各位ニ於テハ此ノ趣意ヲ諒セラレ町村財政ノ状態ヲ考ヘ国県費支弁ノ官吏吏員職員ト均衡ヲ失ハサル程度ニ於テ小学校教員ニ手当支給ノ計画ヲ立ラレ度

青年団ニ関スル件

青年団ノ振興ニ関シテハ各位ノ指導ト青年団ノ覺醒トニヨリテ其ノ実績ノ見ルヘキモノアリト雖我ガ国現時ノ大勢ニヨリ考フレバ更ニ一層ノ改善ヲ要スルハ言ヲ俟タス故ニ一ニハ幹部指導講習ニヨリテ益々國民ノ精神ノ自覺ヲ鞏固ニシ以テ中堅人物タルノ実ヲ具セシメ之ニヨリテ一般ノ青年ヲシテ愈々健全ナル國民タルノ鍊成ヲ期シ一ニハ在郷軍人分会トノ連絡ヲ図リ以テ教育産業等民力涵養ノ普及徹底ニ尽力セシメ地方ノ開發ニ裨補セシメラレムコトヲ望ム

肥料取締ニ関スル件

販売肥料ノ需要増進ニ伴ヒ諸種粗悪肥料ノ現出ヲ見ルヲ通例トス就中近年農産物ノ價格騰貴シ農家ノ肥料購買力著シク増進セルト一面昨今ノ如ク肥価暴騰セル場合ニ於テハ一層此ノ傾向アリテ本春ニ於ケル肥料取締法規違反者ノ例年ニ比シ多カリシハ以テ証トスヘシ故ニ県ニ於テハ銳意之レカ取締ヲ嚴ニシ其ノ品質ノ改善ヲ図リツヽアリト雖尚農業者ノ自衛ニ俟タサルヘカラス即チ製造者ヲ選択シ成分量ニ注意シ可及的共同購入法ニ抛ラシムル等適當ノ措置ヲ講セラルヘシ

道路堤防並木敷其ノ他官有土地水面繼續使用ニ関スル件

道路堤防並木敷其ノ他官有土地水面ノ繼續使用ヲ要スル場合ハ期限満了前繼續使用願書ヲ提出スヘキ規定ナルニ拘ハラス其ノ實際ニ於テハ之カ満了後提出ニ係ルモノ勘カラス其ノ甚シキモノニアリテハ數ヶ月乃至一ケ年余ヲ經過シテ漸ク手續ヲ運フモノ稀ナリトセス之等規定ニ背反セル使用者ニ対シテハ相當書面ヲ徴シテ遅延ノ理由ヲ明カニセシメ且期限満了前予メ使用者ヘ注意シ可成之等ノ不都合ナカラシメムコトヲ望ム

土木ニ関スル願届ノ件

土木事務ニ関スル願届書中願届書及函面ノ形式不備ナルカ為書類ノ往復ヲ重ネ延テ処分ノ敏捷ヲ欠クコト勘カラサルヲ以テ取扱上一層注意セラレムコトヲ望ム

軍事救護ニ関スル件

軍事救護法実施上ニ関シテハ從來屢々注意ヲ促カシタルトコロナリト雖全法実施后一ケ年余ノ実況ニ徴スルニ尚往々救護ノ要アル者ニシテ救護ノ恩典ニ洩ル、者又ハ既ニ救護セル者ニシテ被救護資格消滅シタル場合若クハ其ノ他救護ノ廢停異動ニ関スル事實ヲ生シタル場合ニ於テ之カ報告ヲ怠ル者アルヲ認ム之レ畢竟スルニ法令ノ趣旨

未ダ一般二十分了解セラレサルニ因ルモノト認メラル、ニ依リ各位ハ一層法令ノ趣旨ヲ貫徹セシムルコトニ努メ実施上遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ望ム

道水路新設変更ニ関スル件

町村管理ノ道水路ニシテ其ノ新設変更ノ許可ヲ受ケタル後潰地上地ノ申請及不用官有地讓与ノ手續遅延スルモノ勘カラス又潰地上地ノ許可ヲ得タル後登記囑託上必要ナル登記済権利証又ハ保証書〔保証書式通〕提出無之カ為事件未了ニアルモノ勘カラス之等調査ヲ遂ケ速ニ整理ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

流行性寒^(マ)冒予防ニ関スル件

昨秋来全世界ヲ風靡セル流行性寒冒ハ本県ニ於テモ亦初発以來本年四月迄ニ患者貳拾八万八千九百八十八人死者五千三百一十一人〔一、七八%〕ヲ算シ之ガ予防方法トシテ県下一般ニ対シ本県創製ノ感作「ワクチン」ヲ配布シ予防撲滅ニ努メ幸ニ終熄ヲ告ケタリト雖モ今秋又此カ再襲アルヤモ計リ難キニ付各位ニ於テハ予メ此ノ点ニ留意シ努メテ衛生思想ノ普及発達ヲ謀リ之カ予防上遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ望ム

県税徴収事務ニ関スル件

県税ノ徴収事務整理ニ関シテハ各位ニ於テ之レガ改善ニ努メラレタ結果其ノ成績漸次良好ノ域ニ進ミ大正六年度ニ於テハ令書発付額ニ対スル五分七厘六毛ニアリタルモ大正七年度ニ於テハ六分九厘五毛ニ達シ大正三年度ニ於テハ令書発付額金拾七万九千五百五拾參円ニ対シ翌年度へ繰越整理シタルモノ金貳千四百四拾七円ノ多額ニアリ大正五年度ニ於テハ令書発付額金拾九万貳千六百拾八円ニ対シ金百五拾八円ヲ繰越タリ大正六年度ニ於テハ極力之レガ整理ニ意ヲ注キタルモ吏員更迭等ノ為メ遂ニ令書発付額金貳拾五万八千參百九拾円ニシテ滞納者三千八百余人ニ対スル金參拾貳円ノ少額ヲ繰越シタリ然シテ大正七年度ニ至リテハ事務非常ニ激増シ令書発付額モ亦從テ膨大シ金參拾万四千五百四拾五円ニ対シ滞納者又七千九百五十名ノ多数アリタルモ全部之レガ整理ヲ了シ繰越額ヲ出サズシテ完了スルヲ得タルハ本郡稅務史上ニ於ケル特筆大書スベキ成績ニ有之候モ之レ当庁ニ於テ賦課徴収事務ニ極力意ヲ盡シタル結果モ有之候モ亦畢竟各位カ賦課徴収ノ事務ニ関シ監督ノ當ヲ得タルト其ノ督励機宜ニ適シタル所以ノ偉大ナル効果トシテ誠ニ本郡ノ為メニ慶賀スベキ現象ニ有之候然レトモ尚未タ滞納ノ弊竇ヲ根絶スルニ至ラズ前述ノ如キ多数ヲ示シツ、アルハ甚タ遺憾トスル処ナリ依テ各位カ施設ト

相俟テ納税組合及旧五人組等ヲ督励シ或ハ講習講話会等ヲ利用シ納税義務觀念ヲ鼓吹シ漸次一般ニ普及スル等又ハ納税ノ準備期間ヲ与フル為メ伝令書ヲ早カラシメ遠隔ノ部落ニ対シテハ出張徴収ノ便宜ヲ能ヘラレ其ノ実績ヲ挙ケラレンコトニ一層努力セラレ尙一面本年度前半期分徴収未済額ノ存スル向ハ此際特ニ銳意之レカ督促ヲ励行シ必ズ本月内ニ整理完了ヲ期セラレンコトヲ望ム

(橋樹郡大綱村大正八年会計書類「飯田助丸氏蔵」)

(注) 別紙欠。

(二)

大綱村長 飯田助夫(印)

指 示 事 項 (大正九年十一月十六日於町村長会議)

郡長口演

要 領

一 敬 神

一 立憲思想ノ涵養ト自治ノ精神

(1) 公民教育ヲ盛ニシ憲政並自治ニ対スル趣味ヲ涵養シ責任觀念ノ養成ニ努ムルコト

(2) 自治講習会等ノ施設ニ依リ地方中心人物ノ養成ヲ図ルコト

(3) 自治展覽会ヲ開設スルコト

(4) 青年団体ノ自主自立ヲ促シ役員ノ選挙及事務事業ノ遂行ヲ自治的ナラシムルコト

(5) 戸主会、自治会等ノ会合其ノ他人民集会ノ機会アル毎ニ選挙或ハ自治政ニ関スル事項ヲ説明シ立憲思想ニ関スル自覚ヲ得シムルコト

(6) 自治ノ進歩發達ニ關係アル公私団躰ノ活動ヲ盛ナラシムルコト

(7) 都市ニ在リテハ都市行政研究会ヲ組織シ之ヲ活動セシムルコト

一 社会政策ノ実行

一 道路ノ完成

一 国民体位ノ改善

一 教員ノ修養ト待遇ノ向上

一 産業部ノ設置

一 国勢調査

一 事務処理

一 徴税ノ整善

一 国民思想ノ善導

〔勉務指針〕(大正九年)飯田助丸氏蔵

〔宿題〕

橘樹郡川崎町長提出

二四 神奈川県町村長会における協議事項

協議事項〔大正十年五月八日〕

三浦郡初声村長提出

一 〔衆議院議員及〕県會議員選挙人名簿ハ必要ノ都度調製スルコ

トニ改正方ノ件

〔修正可決〕

都筑郡都田村長提出

二 県費支弁ヲ以テ町村ニ一人宛ノ農事指導員配置方ノ件

〔宿題〕

三 出生児祝、婚儀〔貰受方〕寿式等ニハ招待員ノ内ニ町村ナル法

人ヲ加ヘ之カ一人分ノ招待費ヲ金額ニ換算シ挙儀当日其ノ町村ヘ

基本財産トシテ寄付スルコトニ県内一斉ニ実行スルノ件

〔宿題〕

橘樹郡大綱村長提出

四 県外移出ニ非サル穀物ハ生産検査済ヲ以テ直ニ横浜方面ニ搬入

ヲ為スコトヲ得ル様県当局ニ上申スルノ件

五 徴兵旅費繰替金並行旅病人同死亡人費繰替金戻入支払命令通知

書発行ノ際ハ其ノ内訳書ヲ添付セラルル様県当局ニ上申スルノ件

〔可決〕

六 行旅病人同死亡人取扱手續第一条ニ於ケル救護並取扱ニ要スヘ

キ費用ノ種目及限度相当改正方県当局ニ上申スルノ件

〔可決〕

七 大正九年十月十五日神奈川県訓令第六十八号町村役場勉務規程

ハ之ヲ廃止シ準則ト為ス様県当局ニ上申スルノ件

〔撤回〔提出者ヨリ〕〕

橘樹郡御幸村長提出

八 明治四十四年九月勅令第二百四十一号第一条ニ左ノ三項ヲ追加

方ノ件

1 本税額一箇年以上ニ亘リテ決定セサルトキハ市町村長ハ其ノ

前年度ノ同一税ノ本税額及其ノ歩合ヲ以テ市町村税ヲ賦課スル

コトヲ得

2 本税額ノ歩合一箇年以上ニ亘リ協議調ハサル時ハ市町村税ヲ

賦課スルコトヲ得

3 前二項の場合ニ於テ本税額及其ノ歩合決定若ハ協議調ヒタル

トキハ過納ハ返付シ不足ハ追納セシムヘシ

〔宿題〕

九 河川改良ニ関スル工事ニ因リテ必要ヲ生シタル工事ニシテ其ノ
管理者タル行政庁ニ於テ河川法第三十二条第二項ニ依リ国库ノ補
助ヲ得テ施行スルモノニ対シ其ノ総工費ヨリ国库補助金ヲ控除シ
タル残額ノ全部ヲ特種土木費補助規程ヲ設定シ県費ノ支弁ニ移ス

ノ件

〔朱書〕
〔可決〕

一〇 町村吏員ヲ養成スル為小学校教員ヲ養成スルト同様ノ特殊学
校ヲ開設スルカ又ハ吏員教習所ヲ開設シテ町村吏員ニ一定ノ期間
吏務ヲ講習セラル、様其ノ筋ニ建議ノ件

〔朱書〕
〔可決〕

〔神奈川県町村長会議書類〕(大正九—昭和九年)大磯町役場蔵
全 国 大和市役所蔵資料に同様のものがある。

三 神奈川県町村長会における町村財政救済

決議 協議事項

決議

多年全国町村ノ切望セル義務教育費国库負担金増額問題ハ天下ノ輿
論ニシテ殆ト白熱ノ状態ニ在リ而モ猶之レカ実現ヲ見サルハ頗ル遺
憾トスルトコロナリ今ヤ世論滔々軍備縮少ニ依リ其ノ余財ヲ以テ教
育ノ振興ト町村財政ノ救済トヲ絶叫セサル者ナシ之レ豈為政治家ノ一
日モ忽緒ニ付スヘキ秋ナラムヤ会々華府會議ノ結果ニ因ル予算変更
ノ必要上不日臨時議會ヲ召集セラル、ニ至ルヘシ本会ハ此ノ機会ニ
於テ必ス之カ問題ノ徹底的解決ヲ期ス

〔各郡提出の協議事項〕

一 県税徴収交付金ノ中地租付加税ニ対スル分ヲ其ノ他ノ県税徴
収交付金ト等シク徴収額ノ百分ノ四ト為シ尚徴税伝令書一枚ニ
付金貳銭ツ、ヲ交付セラレムコトヲ其ノ筋ニ上申ノ件 〔金
沢村長提出〕

二 町村財務取扱細則第八条ノ歳入簿様式ノ中町村税及授業
料以外ノ歳入ニ付テハ収入調定額及欠損額ノ欄ヲ設クルモ實際
ニ於テ効果ナシト認ムルニ依リ之ヲ削除スルコトヲ得ル様訓令
ノ改正ヲ県当局ニ上申ノ件 〔戸塚町長提出〕

三 町村制第四十七条第三項但書中召集再回ノ場合ヲモ加ヘラレ
ムコトヲ其ノ筋ニ意見上申ノ件 〔三浦郡町村長会提出〕

四 自家用醬油税ヲ一期ニ徴収スルコト、シ且曆年内ニ徴収スル

模税法ノ改正ヲ其ノ筋ニ上申ノ件 〔茅ヶ崎町長提出〕

五 郵便局ニ於テ取扱フ証券ノ保管ハ公共団体ノモノニ限り国債

証券、拓殖証券、勸業債券以外ノ有価証券〔農工債券地方債券等〕ヲモ取扱フ様制度ノ改正ヲ其ノ筋ニ上申ノ件 〔茅ヶ崎町長提出〕

町長提出〕

六 選挙法違反ニ依ル選挙権停止者カ恩赦ニ依リ復権シタル場合

既決犯罪事項ト同様市町村役場ニ其ノ旨通知セラル、模法令ノ

改正ヲ其ノ筋ニ上申ノ件 〔茅ヶ崎町長提出〕

以上六件原案可決

七 市町村衛生費ノ補助率及「費用標準」ノ増加セラレムコトヲ

県当局ニ上申ノ件 〔茅ヶ崎町長提出〕

右は「」を加ふる事に修正の上可決

〔全 神奈川県 国町村長会議書類〕〔大正九―昭和九年〕大磯町役場蔵

〔注〕この決議協議事項は大正十一年四月のもの。なおこの資料は「大正

十一年会務報告」の抜萃。

二四六 橘樹郡大師河原村事務報告

大師河原村大正十年事務報告

本年中処理シタル事務ニ於テ村会議員改選土木常設委員選挙其他共

用墓地新設吏員更迭大演習事務等ニシテ殊ニ本年七月中役場新庁舎

ノ工事ヲ開始シ全部完成ニ至ラサルモ之等ノ為メ事務ニ繁劇ヲ加フ

ル多大ナリトス尚本年ハ東宮殿御渡欧アラセラレ国民ノ記念スヘキ

年ニシテ御帰朝ニ際シ殿下ノ御宏漢ヲ普ク村民ニ徹底周知セシメタ

リ而シテ本年中取扱タル文書ノ数ハ收受三千四百四十三件発送千九

百五件外ニ經由千三百三十六件ナリ左ニ事務ノ種類ニ付状況ヲ掲記ス

一村 会

開会セシコト十三回ニシテ議決シタル事件ハ一月廿八日大正九年度

村税課率更正ノ件外一件二月廿七日基本財産蓄積停止ノ件外十件三

月十九日大正十年度県税戸数割賦課方法ノ件外三件四月十一日遊興

税付加税徴収規程ノ件外二件五月三日大正十年度村税課率更正及不

均一課税ノ件外十件六月九日京浜運河開鑿並ニ公有水面埋立設計変

更ニ関スル諮問ノ件外一件六月二十三日渡銭ノ徴収スル渡船場設置

ノ件外四件七月七日役場建築費ノ内雑支出ニ関スル件外五件七月十

五日国有下戻地々種組替ニ関スル諮問答申ノ件外參件九月三十日大

正十年度歳入出追加予算ノ件外一件十月三日県税戸数割追加ニ対シ

テハ付加税ヲ賦課セサルノ件外一件十月廿九日急施事件トシテ有給

助役選定ノ件十一月十一日本村名誉職助役推薦ニ関スル件外二件等

ナリ而シテ本項ニ関シ取扱ヒタル文書ノ数ハ收受二十五件発送三十

六件ナリ

二 選挙

選挙ハ総テ七回^(マ)ニシテ内四月一日二級二日一級村会議員改選二回五月三日土木常設委員ノ選挙一回全日学務委員ノ選挙一回全日勸業常設委員ノ選挙一回全日川崎町外五ヶ村組合議員ノ選挙一回全日臨時委員ノ選挙一回全日臨時出納検査立会人ノ選挙一回而シテ本項ニ関スル文書ハ收受三十二件發送二十八件ナリ

三 吏員更迭

十月三日有給助役杉山助病氣退職ニ付十月廿九日後任者鈴木寛ヲ選定シ十一月一日就職ス又事務繁忙ノ為メ十一月十一日名誉助役石渡幸蔵ヲ推薦シ十一月廿二日就職ス大正十年四月八日書記大隅新六病氣退職ス大正十年五月廿四日書記荒金末吉病氣退職十二月三日書記馬場駒次現役兵トシテ入営ニ付退職十二月十一日付ヲ以テ寺尾喜助ヲ書記ニ採用セリ本項ニ関シ取扱ヒタル文書ハ收受七件發送十二件ナリ

四 庶務

衆議院議員選挙人名簿調製一件県會議員選挙人名簿一件共用墓地新設ノ養稟請本村ハ從來共用墓地ノ設ナク村内ニ行旅死亡人等アリタル場合ハ寺院所有ノ墓地ヲ借り受け埋葬セシモ近來会社工場ノ設立

セラル、ニ伴ヒ人口ノ増加シ寺院墓地狹隘ノ為メ寺院ヨリハ之等ノ埋葬ヲ拒絶セラレ其不便不勝依テ大正九年十月廿七日共用墓地新設ノ養稟請セシニ一月十四日付本県知事ヨリ許可アリタリ大正十年二月廿八日大師河原村財務取扱細則ヲ設定シタリ三月廿四日本村役場使丁村木茂平勤続十有九年ニ付功勞者トシテ表彰シタリ民力涵養ニ関スル件町村稅納稅成績向上ニ関スル施設事項及実行方法ノ件區長會議ニ関スル件六月九日區長及代理者改選ニ付六月廿七日大師涉成園ニ召集シ村長助役出席村治上ノ打合せヲ為シタリ八月八日社界教化講習会ヲ川崎小学校ニ於テ開催ニ付本村ヨリハ助役杉山助小学校長小泉太一郎郡會議員内田誠三出席シタリ東宮殿下奉迎ノ件東宮殿下欧州御巡啓ヲ了セラレ御帰朝ニ付奉迎ノ為メ郡會議員村會議員在郷軍人分会青年團員消防組村吏員ハ御幸村明治製糖会社倉庫西側へ出張奉迎シタリ公園私園調査ニ関スル件其他雜件百二十件本項ニ関シ取扱ヒタル文書ハ收受百拾拾七件ニシテ發送七十二件ナリ

五 戸籍

戸籍受付件数九百八十四件ニシテ内出生二百五十七件死亡二百十五件婚姻百三十四件離婚十七件家督相続四十六件転籍四十四件分家三十三件養子縁組三十三件養子離縁七件隠居九件其他七十三件非本籍人出生六十二件死亡五十一件婚姻二件廃家一件戸籍寄留謄本抄本交

付数五百三十件戸数文書收受六十四件発送五百三十二件ナリ寄留交付件数五百六十一件寄留文書收受十二件発送四百四十八件ナリ

六 兵 事

六月廿七日川崎町宮前小学校ニ於テ海軍簡閲点呼執行参会ヲ令セラレタルモノ十八人全部参会シタリ

七月廿日橋樹郡役所ニ於テ徴兵検査執行受験者六十六名ノ内現役兵ニ当籤セルモノ二十八人補充兵十八人アリタリ

八月十七日大師河原小学校ニ於テ陸軍簡閲点呼執行参会ヲ令セラレタルモノ三百二十八名アリタリ

十一月十七日ヨリ廿日迄本県下ニ於テ陸軍特別大演習舉行セラレ其ノ筋ノ通牒ニ基キ大演習事務委員ノ設置各字毎ニ宿舍要函ノ調製其

他大演習ニ関スル準備ヲ為シヌ

東宮殿下御通過ノ御道筋御警衛村内警備等ニ就テハ在郷軍人分会青年団消防組等ト協力シ万遺憾ナキヲ得タリ

本項ニ関シ取扱ヒタル文書ハ收受百七十一件発送七十二件ナリ

七 教 育

本年就学告知書ヲ発シタルハ二百廿八名ニシテ就学シタル児童数ハ二百十八名外ニ免除ヲ受ケタル者男一名女二名行先不明ノモノ十名ナリ

本年卒業シタル者尋常科百九十二名男一〇〇名女九二名高等科三十九名男二〇名女一九名ナリ高等科入学者九十七名男六八名女二九名
補習学校入学者七名

転入学者四十八名男十七名女三十一名転出者七十五名男四八名女二七名
ノ更迭ヲ挙クレバ新任三名退職一名死亡一名

本項ニ関シ取扱ヒタル文書ハ收受百十六件発送百三十八件ナリ

八 衛 生

定期第一期二九三人善感第一期二八四人不善感第一期三二人
第二期三三四人善感第二期二〇二人不善感第二期三二人
ラホーム検診ハ野本校医之ヲ施行シ検診人員男六六七人 中症男一七
女五六五人 女三〇九人

人軽症男二九人

壮丁トラホーム検診ハ県医之ヲ施行シ検診ノ人員九十八人重症三人軽症十三人計十六人ナリ

一般トラホーム特殊業者ニ対シテハ県医之ヲ施行シ検診人員三百四十六人軽症男二四計十六人ナリ

伝染病〔腸窒扶斯〕患者六十五人男三十二人女三十三人ナリ

内死亡者男五人計十人
女五人

埋火葬認許証交付数二百六十二内土葬二二一人火葬四一人

本項ニ関シ取扱ヒタル文書ハ收受百七十六件発送百六十八件ナリ

九 勸 業

野鼠駆除ニ関スル件川島富右衛門外二人ヨリ野鼠駆除申出ニ付三月十五日郡清水農業技師本村役場へ出張駆除剤ヲ調製シ當日申出人ニ配付シタリ施行反別三十町歩ニシテ其効果良好ニシテ大ニ被害ヲ免レタリ種牝豚購入補助ニ関スル件二月十日付小林本吉ヨリ補助出願セルニ対シ三月三十一日付神奈川県知事ヨリ金拾圓交付アリタリ空俵予備検査施行ノ件生産麦用空俵予備検査施行ニ付五月六日各区長へ注意方通知シタリ米増収競作品評会ニ関スル件五月三十日各区長へ実行方通知シタリ生産検査員更替ノ件五月六日検査員佐々木真太郎退職堤半蔵就職シタリ移出検査員臨時立寄所ニ関スル件六月十八日本村役場内へ移出検査員臨時立寄所ヲ設置シタリ大正九年度農會決算ノ件六月二十八日大師河原村農會ヨリ提出ニ付全日郡役所へ送付シタリ螟虫駆除成績ノ件六月十一日十六日ノ二日間教員監督シ村勸業常設委員村害虫予防委員全道小学校児童ヲシテ採卵捕蛾ヲ行ハシメタリ採卵數一万二千七百四十三捕蛾數一万四千九百八十一従事シタル兒童九百人苗代ヶ數三百八ナリ

桃炭疽病ニ関スル件氣候ノ關係上各町村ニ涉リ炭疽病發生ニ付六月廿二日各戸長ニ宛テ防方通知シタリ漁業組合講習會ノ件漁業組合ヨリ理事式名魚介養殖会社ヨリ事務員參名出席シタリ水産會設立ニ関スル件水産會設立ニ関スル協議會ヲ本郡役所ニ開會ニ付魚介養殖會

社、筒井信藏小島源藏石川慶藏山朝吉田辺幸吉宮坂甚五郎へ通知シタリ 天覽品供進ニ関スル件本県ニ於テ大演習舉行ニ付本村漁業組合ヨリ乾海苔參拾帖魚介養殖株式会社ヨリ蛤五柙ヲ供進シタリ十月廿六日空俵購入仲介ヲ各区長ニ通知シタリ申込數三、五三三俵ニ對シ六百四十俵十一月十九日申込數三、七五〇俵ニ對シ六百五十俵ヲ仲介シタリ其他雜件百九十八件ナリ右ハ重ナル文書ニシテ取扱ヒタル數收受二百一十一件發送百四十五件ナリ

一〇 土 木

道路占用料徵收ノ義ニ付認可申請ノ件

三月八日付道路法第二十八條第四項ニ依ル本村道路占用料徵收ニ付標準額認可申請セシニ三月十一日付郡長ノ認可ヲ得タリ道路敷地占用繼續許可願ノ件〔大正九年九月二十九日付〕京浜電氣鐵道株式会社ヨリ既設電柱道路敷使用繼續占用出願ニ付大正十年三月廿四日許可シタリ

多摩川河川台帳縦覧ニ関スル件四月二十二日第四百一十一号ヲ以テ本県ヨリ告示アリタルニ付四月廿五日各区長へ通知シタリ一月十五日水路廢止并ニ無償讓与ノ義許可申請字川中島耕地千七百三十八番ノ六地先水路長二十八間字北東耕地二千六百四十七番ノ二号地先ヨリ二千六百四十八番ノ一地先水路長三十三間ノ廢止許可ヲ申請シタル